

文化財を守ろう

首切地藏尊など

日光市文化財に指定

日光市教育委員会では、このほど日光市文化財保護審議委員会から答申のあった「首切地藏尊」を日光市文化財（史蹟）に指定し、保存保護につとめることになりました。

所野から丘陵を北西にのぼると台地に出る道があります。大窪を経て小百に至る小道ですがその台地の西に小山をながめて首切地藏尊が安置されています。この地藏尊は処刑者の霊を供養するために建立されたものでその基礎の背面に地上から内に向かって穴を掘り首を投げ込ん

たもので、その深みに相当数の頭蓋骨が見られます。そのむかし、日光の処刑場は死土淵川付近（志渡淵川）と国鉄駅近くの白山神社付近にあったようで、その後、お宮やご帯屋近くではこのことで現在の地に移されたという言い伝えがあります。

なり、そこで一週間放置され、縁者のある者は持ち去られますが残った首が地藏尊の下に投げこまれたもので、一〇〇メートル離れた傾斜地には今でもこの付近から人骨が出ることで



【首切地藏尊】

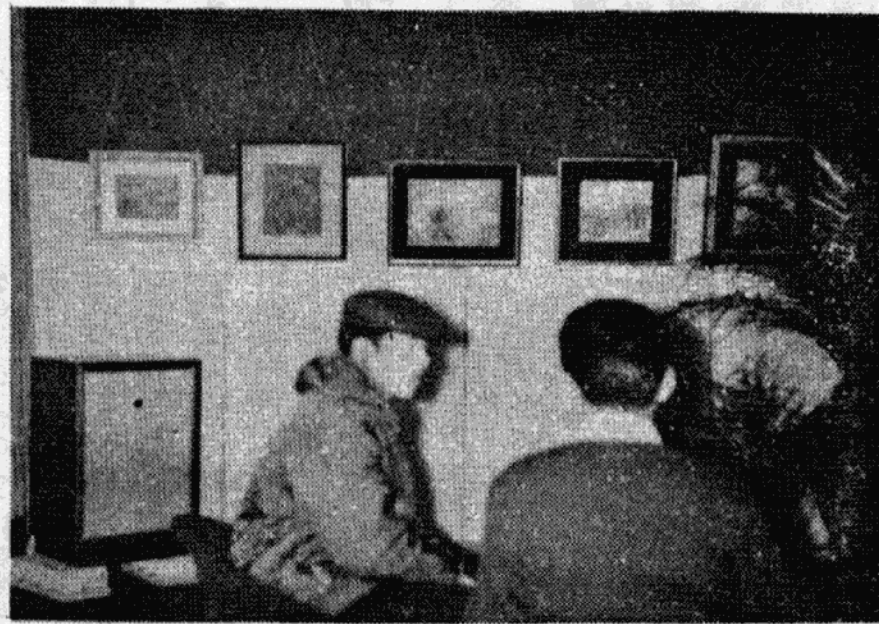
わけて、この付近一帯を善阿弥塚と呼ばれたそうです。このように刑場に地藏尊をまつり受刑者の死後の救いと安楽

を祈念したことは全国的なことであつたろうと思われませんが、こんにち、むかしのまま大地蔵とも残っているのはまれなこと

で、首切地藏尊、大地蔵尊、経塔を史蹟として保存保護につとめようと、このたびの指定になったものです。

グループ紹介 ①

「グループVOA」



「グループVOA（ボア）」という絵画グループがあります。美術学校卒業のベテランから、絵を描きたての五枚目ぐらゐの新人を含めての雑居家族。二月中旬の月刊新聞に大きく紹介されているので、すでに知っている方もあると思いますがこのグループは役職をおかず幹事が当番制で仲間の世話をしています。会員は我妻英策、石島力雄、薄井ミツイ、荻野与志雄、小野崎草樹、川島盛人、黒沢清、齊藤一光、関谷節、中山

一明、星章、星野三男、宮田ひろ子、迎豊作、冷泉正子、渡辺清江、渡辺浩氏の十七人です。活動状況は、他の絵画グループとたいがいはありませんが、展覧会に三回連続して出品しないと除名されることになっているそうです。そのかわり絵を描きたてばかりの者には先輩が親切に指導してくれます。一泊程度のスケッチ旅行が年に一回、その他、会員の車を利

用してのたのしい写生会、モデルを呼んでの人物デッサン会、作品批評会などが行なわれます。また、年末には歳末助け合い運動の一環として作品の即売展を行ない、売り上げの一部を市に寄付するという行事も毎年行なっている、なかなかたのしいグループです。事務所は安川町関谷節さん宅。

ユースホステル 窓 口

最近、ユースホステルの会員になられる方がひじょうに多くなってきました。また、ホステルについての問い合わせが毎日電話などでありますが、くわしくお知りになりたい方は、直接ホステルに来て相談されたほうがよいと思います。なお、新しく会員になって旅行に出られる方は、あらかじめホステル知識を得るために日光ユースホステルに一泊して他のホステラーと交歓するのもひとつの方法です。